



# Flash News

三重大学

第57号

## 目次

- 「医学部附属病院の病棟・診療棟新営工事の安全祈願祭」を举行
- 大規模災害図上訓練を実施
- 「情報化シンポジウム・イン・三重」を開催
- 「三重大学PBL教育国際シンポジウム」を開催
- 平成19年度産学連携「製造中核人材育成プログラム：技術者育成講座」報告
- 四日市コンビナート産学官連携による「第2回三重大学講演会」を開催
- 「第2回三重大学・和歌山大学連携協議会」を開催
- 「国際交流セミナー」を開催
- インターネット子ども交流
- 「平成19年度三重大学教育GP成果報告会」を開催
- 「個人情報保護に関する研修会」を開催
- 「エネルギー環境教育成果報告会」を開催
- 大学院生物資源学研究科長を選出

## 「医学部附属病院の病棟・診療棟新営工事の安全祈願祭」を举行



3月17日、新病棟・診療棟建設地にて標記祈願祭が举行されました。豊田学長、内田病院長をはじめ大学関係者や施工関係者が出席し、工事期間中の安全を祈願しました。今後、第Ⅰ期工事として病棟・中央診療棟の一部（鉄骨鉄筋コンクリート造12階建て40,650㎡）の建築に向け工事が進められます。地域に高度な医療を提供できる新しい大学病院の完成を目指しています。工事は平成23年6月までの予定です。

## 大規模災害図上訓練を実施



3月18日、本学災害対策プロジェクト室の企画により「巨大地震発生直後における三重大学災害対策本部の設置に引き続く応急対策についての図上訓練」（シミュレーション訓練）を総合研究棟Ⅱ2階会議室で実施しました。訓練者（プレーヤー）は、発生時における地震・津波情報、学内被害状況、交通機関や道路の被害状況、また三重県からの要請など、次から次へと提示される訓練統括者（コントローラー）からの情報への対応を体験しました。情報に応じてどのような行動をとるべきかを考え、実際に判断し行動することにより、問題点等がクローズアップされ、本学危機管理マニュアルの検証等に資することができ、有意義な訓練となりました。

## 「情報化シンポジウム・イン・三重」を開催

3月7日、メディアホールにおいて、産・官・学と地域の連携で地域情報化推進を目指す標記シンポジウムが約120名の参加者が集い開催されました。基調講演では、日経メディアラボの坪田知巳氏、総務省自治行政局の藤井信英氏に続いて、小林英雄理事より行政・企業・大学・住民の連携と役割についての講演がありました。引き続き、産官学民の代表によるパネルディスカッションが行われ、地域情報化の必要性和課題について議論され有意義なシンポジウムになりました。



## 「三重大学PBL教育国際シンポジウム」を開催

3月7日、標記シンポジウム「PBL教育の実践と効果」が開催されました。はじめに、平成17年から取り組んできたPBL教育の成果報告として、3名の教員から実践事例報告がありました。続いて、今後のPBL教育の全学展開に向けた課題である、大人数授業におけるPBL教育実践について、米国デラウェア大学のGeorge Watson教授からその具体的な方法論が紹介されました。また、PBL教育の全学展開に取り組んでいる数少ない大学の一つである高知大学からも、その取り組みの概要と実践事例が紹介されました。



## 平成19年度産学連携「製造中核人材育成プログラム：技術者育成講座」報告

三重県、四日市市、地域企業と本学との連携による「平成19年度技術者育成講座」が平成20年3月に完了しました。この講座は、平成17年、18年に実施された「経産省製造中核人材育成事業・実証講座」を受け継いだもので、平成19年度も、延べ203時間にわたり、電気・電子・機械、環境配慮、品質管理、コストダウン技術、生産管理の5講座が行われ、延べ22社、121名の方が受講されました。本講座は北勢地域の社会人技術者の人材育成事業として評価され、平成20年度もさらに内容を充実させて実施することが計画されています。また、この講座で確立された教育内容・方法は本学大学院工学研究科で平成20年度より開始される「創成工学コース」にも活かされています。

**四日市コンビナート産学官連携による「第2回三重大学講演会」を開催**

2月27日、四日市市のホテルにおいて標記講演会が開催されました。本学大学院工学研究科の鈴木実平教授と小竹茂夫准教授の講演に、約70名の企業、行政、大学関係者ら参加者は熱心に聞き入っていました。コンビナート企業と四日市市消防本部および本学は、主として保安に関する新規技術の開発や応用に向けて定期的に勉強会などを行っており、この講演会はその活動の一環として、本学のシーズを広く知っていただくために開催されたものです。講演会後の意見交換会では、15名の教員と企業、行政関係者が出席者し、活発な情報交換が行われました。

**「第2回三重大学・和歌山大学連携協議会」を開催**

3月3日、学長室において、標記協議会がテレビ会議により行なわれました。今回の協議会は、野村理事から本学のPBL教育の取組について紹介の後、「今後の連携について」と題して、「世界遺産の共同研究」「遠隔授業の試行および単位互換制度の可能性」「防災研究」「紀伊半島研究」「サテライトの現状」などに、前回からの経過報告を含めて積極的な意見交換が行われ、有意義な協議会となりました。なお、今後は紀州路の文化財に関する研究や単位互換などについて、担当理事あるいは実務者レベルで実施に向け、具体的な検討に入ることとなっています。



**「国際交流セミナー」を開催**

3月10日、メディアホールにおいて、文部科学省大臣官房国際課長 吉尾啓介氏を迎えて「文部科学省の国際戦略」と題した標記セミナーが行われました。講演では、200万人を超える外国人在住者と外国人子弟の教育、留学生30万人受入れ計画のインパクト、大学グローバル化プランの策定など、文部科学省を取り巻く現況の説明がありました。また、文部科学省や大学は今後何をなすべきかをテーマに、同氏と参加者が質疑応答形式で活発な議論が交わされました。そして、セミナーの最後は、同氏より「Presence, Excellence, Diversity!!」という言葉で締めくくられました。



**インターネット子ども交流**

本学が文部科学省に採択された国際教育推進プランの活動として、昨年のソウルの拠点との交流(フラッシュニュース47号参照)に続き、今年はウィーンとの拠点とウェブカメラをつないだ交流を行いました。これまで月に一度行ってきた活動とは異なり、時差の都合で3月8日の夕方にメディアホールに集まった津市内の子どもたち23名は、津市内の外国語指導助手(ALT)などのファシリテータのサポートの下に大きな声の方が勝ちという「こえつな」ゲームなどを通じてウィーンの子どものたちと交流を深め、楽しいひとときを共有しました。

**「平成19年度 三重大学教育GP成果報告会」を開催**



3月11日、総合研究棟Ⅱ第2・3会議室において標記報告会が、学長、教育担当副学長、教育機構委員、学内教育GP取組代表者および一般教員が出席して開催されました。本年度三重大学教育GPとして採択された8件の取組代表者による成果報告が行われ、出席者から取組の成果に対する熱心な質疑応答および講評があり、今後のさらなる発展に向けた有意義な報告会となりました。

**「個人情報保護に関する研修会」を開催**

3月14日、メディアホールにおいて、標記研修会が開催されました。研修会では、富岡義人准教授・工学研究科が「国立大学における個人情報保護」と題して、個人情報保護法や大学での個人情報を取り扱う際の注意事項を解説した後、それぞれ参加者らは、具体的な事例が記載された25問の演習問題に取り組みました。受講した約80名の教員は、回答後、行なわれた解説に熱心に聞き入り、改めて個人情報の取り扱いの大切さを感じていました。

**「エネルギー環境教育成果報告会」を開催**

本学と産学連携の包括協定を締結している中部電力と協働で行っている標記報告会が3月15日にメディアホールで開催されました。朴恵淑教授・人文学部を中心とする「環境とエネルギーについて学び地域社会に活かす人材育成プログラム」および松岡守教授・教育学部を中心とする「小中学校におけるエネルギー・環境教育のプログラム開発」の両プロジェクトは、平成19年度にそれぞれ本学の学生や地域のNPO、本学附属小・中学校の先生を中心に実施されました。成果報告会は、学内外から約100名の参加者が集い、今回の成果を踏まえた継続的、発展的取り組みについて活発な意見交換が行われました。



**大学院生物資源学研究科長を選出**

大学院生物資源学研究科では、2月6日、健康上の理由から辞任する三井昭二研究科長の後任に田中晶善教授を選出しました。任期は、2月18日から来年3月末までです。

**投稿のお願い**

各種事項(大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等)に関するフレッシュなニュースの提供をお待ちしています。小林英雄(kobayashi@mie-u.ac.jp)または井上真理子(mariko-i@ab.mie-u.ac.jp)まで。場合によっては、取材に向きます。《フラッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページ(<http://www.mie-u.ac.jp>)でご覧いただけます。》編集責任者/理事・事務局長 三浦春政

